

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ山行計画 (party wandering)

山行名：せんじょうのアルピニスト (気取り)

山行計画書 (party wandering)

【山行名】せんじょうのアルピニスト (気取り)																									
【日時】 2006.2.10 (土) ~2006.2.14 (水) (前夜発 2泊3日+予備日2日+スライド予備日1日)																									
【目的】生活技術の向上 憧れのアルプスを垣間見る																									
【山城】南アルプス																									
【使用地形図】仙丈ヶ岳 甲斐駒ヶ岳 (1:25000)																									
【参加条件】2006年度冬山研究班班員及びそのOB・OGに限る																									
【日程】																									
前夜 [2.9 (金)] つくば (車) 戸台																									
1日目 [2.10 (土)] 戸台 (3:00) 赤河原分岐 (3:00) 北沢駒仙小屋 (2:30) 大滝の頭五合目 【行動時間 8:30】																									
2日目 [2.11 (日)] 大滝の頭五合目 (2:30) 仙丈ヶ岳 (1:50) 大滝の頭五合目 (1:50) 北沢駒仙小屋 【行動時間 6:10】																									
3日目 [2.12 (月)] 北沢駒仙小屋 (1:40) 赤河原分岐 (2:40) 戸台 【行動時間 4:20】																									
4, 5日目 [2.13 (火) ~2.14 (水)] 予備日																									
【現地气象台】長野地方气象台	026-232-3737																								
【現地交通機関】山梨貸切タクシー	055-237-2121																								
【荒天対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・入山しない ・引き返す ・ビバーク ・停滞 ・スライド予備日の利用：スライド予備日を利用する時は 2.11 (日) に【日程】の1日目を、2.12 (月) に2日目、3日目をこなして、一泊二日とする。 2.12 にAM8:30 までに小仙丈ヶ岳に、また、AM9:30 までに仙丈ヶ岳に着かない場合は、その時点で下山を開始する。 	【食料計画】 個は個人、団は団体で用意する。 <table border="1" data-bbox="829 1276 1492 1478"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日目</th> <th>2日目</th> <th>3日目</th> <th>4日目</th> <th>5日目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝</td> <td>個</td> <td>団</td> <td>団</td> <td>(団)</td> <td>(団)</td> </tr> <tr> <td>昼</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>(個)</td> <td>(個)</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>団</td> <td>団</td> <td>(団)</td> <td>(団)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">* () は予備食を表す</p>		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	朝	個	団	団	(団)	(団)	昼	個	個	個	(個)	(個)	夜	団	団	(団)	(団)	
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目																				
朝	個	団	団	(団)	(団)																				
昼	個	個	個	(個)	(個)																				
夜	団	団	(団)	(団)																					

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ山行計画 (party wandering)

山行名：せんじょうのアルピニスト (気取り)

【団体装備】

- テント一式 (本体・外張り・ポール) 団コップフェル一式 ガスヘッド ガスボンベ×3
- ガソリンストーブ ホワイトガソリン×20 団マット 天気図用紙 ラジオ 無線機
- スコップ×3 スノーソー×3 ゾンデ×3 赤旗×30
- ビーコン×3 竹ペグ適宜 たわし 灯油ポンプ お茶パック適宜

【個人装備】

- ザック ザックカバー ヤッケ or 雨具 シュラフ シュラフカバー マット 登山靴
- ナイフ レーション 軍手 ポリタンク2L ライター コンパス 地形図 食器 非常食
- 非常用パック 医療用パック 保険証 防寒着×2 帽子 ビニール袋 トイレットペーパー
- 新聞紙 ヘッドランプ 時計 細引き (6mm×10m) 着替え お金 学生証 携帯電話
- 米 合 タオル 手袋×2 オーバーグローブ スパッツ サングラス ゴーグル
- 日焼け止め 雑巾 ピッケル アイゼン ワカン 目出帽 計画書
- 替えバンド3種 (ワカン、アイゼン、スパッツ) スリング (120cm) カラビナ

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ

山行計画書 (party wandering)

【山行名】 せんじょうのアルピニスト (気取り)
【日時】 2006.2.10 (土) ~2006.2.12 (月) 前夜発 2泊3日
【目的】 生活技術の向上 憧れのアルプスを垣間見る

メンバー：CL 大石 大藪 原田

[前夜 2. 9 (金)]

アプローチをしようとした道 (入笠山を通る道) が雪のため閉鎖されていて通ることができなかった。仕方なく回り込んで反対側から入山地点へ行くことに。

6:15 戸台

[一日目 2. 10 (土)]

7:40 出発

10:30 赤川原分岐

13:00 大平山荘

14:45 2199m手前

アプローチで時間がかかってしまったので、予定していた大滝の頭 5 合目まではいけそうに無かったが、尾根上は初め樹林帯なので行けるところまで行って幕営することに。2199m手前はかなりいい幕営地があったのでそこでストップした。

14:45 幕営完了

[2日目 2. 11 (日)]

4:00 起床

天気、晴れ。昨夜は風の音が強かった。

5:50 出発

9:30 小仙丈ヶ岳

軽いラッセル。しかし高度を結構上げるのでなかなか疲れる。途中でどこかの山岳会の人たちとであって交代でラッセルしながら進む。樹林帯を抜けて尾根上に出るとやはり風が強い。樹林帯を抜ける前にアイゼンに変えておいたほうが無難だっただろう。

尾根上でアイゼンに変えていると、かぜで大藪のアイゼンの袋が飛ばされてしまった。

11:30 仙丈ヶ岳

小仙丈ヶ岳からは少し細い尾根があるが、右側 (風上側) を歩くように注意すれば差ほど問題は無い。若干ガスが出ていたので、所々赤旗を立てながら進む。

仙丈ヶ岳に着いた瞬間少し晴れ間が見えて感動した。しかし、風が強く、寒い。すぐに引き返した。

12:35 小仙丈ヶ岳

14:35 北沢駒仙小屋

北沢駒仙小屋に幕営。トイレがあると聞いていたが、無かった。

幕営して、寝るときに大藪が「靴を脱がなくても良いのか」と言う質問をした。

そこで「血行が悪くなるので脱いだほうがいいのでは？」

と答えたのだが、結局大藪は靴を脱がずにシュラフに入ってしまった。

それが 1 番考えられる中で大藪が凍傷になった大きな理由ではないかと思う。せめて靴紐を緩めてさえいれば、状況は変わったかもしれない。もう一つ、いつもより多めに靴下を履いていたことも災いしてしまったのだろうか。

もっとテント内で足の血行を考えて、凍傷を予防するよう呼びかけなくてはいけなかったと思う。そして、次の日、大藪が足が痛そうなのを見て、凍傷かもと気づけなかったところもリーダーとしていたらなかったと思う。その結果大藪は冬研を途中で抜けてしまうことになった。せつかくここまで来たのだから最後まで一緒に行きたかった。監督不行き届きで申し訳ないと思う。

下級生は、上級生が当たり前だ、と思っていることを知らない。いうべき所はきちんと、言うことが大切だ。「普通わかるだろう」と言う考えでは、取り返しの付かないことになりかねない。口うるさく言うことも、下級生を守ることにつながることもあるのだ、と言うことを実感した出来事だった。

[3 日目 3. 12 (月)]

6:00 起床

10:00? 戸台

記録があいまいですがおそらく 10 時くらいには戸台に着いていたと思う。

反省会

原田

仙丈ヶ岳の直前で、シャリばて（カロリーの摂取が不十分で思うように体がうごかなくなること）状態になってしまった。気をつけたい。

トレーニングをやっていきたい。もっと体力をつけなければ。

水作りのとき、なべから水をこぼしてしまった。注意。

装備わけは、どの荷物を誰が持つかをそのときに決めてしまったほうが良い。家でパッキングできるから。

大藪

体力がなく、山を楽しむ、周りを見る余裕が少なかったように感じる。

体調を整えて山に登ることが大切だと思った。

アイゼンの袋を飛ばされてしまった。反省。

出発の用意など、もうちょっとてきぱきとできるようになりたい。

大石

心配していた高度障害などが起きなくて良かった。

体力は自分を含めて全員不足していると思う。体力はありすぎて困ることは無いのだから、やはり積極的にトレーニングに参加すべきだ。

3000mピーク登頂おつかれ！！